

科目名	通信工学実験 I Experiments in Communication Engineering I			担当教員	三河通男, 荒井伸太郎, 川久保貴史, 草間裕介, 桑川一也, 塩沢隆広, 正本利行, 横内孝史		
学 年	4 年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	3
分 野	専門	授業形式	実験	科目番号	11T04_30290	単位区別	履修
学習目標	情報通信工学に関する基礎技術を通信工学実験を通して、講義で学んでいる理論と実践の両面から専門知識・技術を習得することを目的とする。学生自身の主体性および協調性を養い、実験遂行能力、問題発見能力、問題解決能力の向上を図る。そして得られた結果に対して理論的な説明および考察を施すことができ、実験報告書をまとめる能力を身につけるようにする。						
進め方	班を編成し、以下に示す各実験テーマをローテーションし、用意したテキストに従って実験を行う。各実験を行うにあたって目的、原理および使用装置の操作方法を学ぶ。実験テーマ終了後原則として一週間以内に、得られた実験結果をまとめそれに対する考察・検討を行い、実験報告書を提出する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 低周波増幅回路の作製・特性評価(6) 2. シンクロスコープ(6) 3. 共振回路(6) 4. 電力計による電力の測定(6) 5. トランジスタの特性測定(6) 6. トランジスタのh定数の測定(6) 7. 負帰還増幅回路の作製と特性評価(6) 8. 中間周波増幅回路の作製(6) 9. 中間周波増幅回路の特性測定(6) 10. 整流回路の測定(6) 11. 直流定電圧電源回路の組立と特性測定(6) 12. 正弦波発振回路(6) 13. マルチバイブレータの諸特性(6) 14. 演算増幅回路の基本回路(6) 15. 光通信実験(6)			実験の目的・原理を理解する。 E1:1 使用器具・装置の操作方法の習得および配線回路製作の技術を向上させる。 E3:1-3 実験データの意味を考えながら実験を遂行する。 E4:1,2 グループで互いに協力して実験を遂行し、問題を解決する。 B3:1-3			
評価方法	成績評価の必要条件は、全ての実験に出席し、全てのテーマの報告書を各自が提出し、それらがすべて受理されることである。出席状況、実験態度、製作物、実験報告書を総合して評価する。						
履修要件							
関連科目	情報通信工学科の専門科目全般						
教 材	テキスト：教員作成資料						
備 考	この科目が未修得の場合、原級となる。特別な理由無く実験報告書が未提出であれば、単位修得ができないこともありえる。						